

平成22年度出前講座年間報告

昨年度に引き続き、当協会の「人材育成」の一環として実施しました「出前講座」について報告します。

この「出前講座」は、世界でトップレベルの水準にある、わが国の優れた橋梁技術を継承するために、将来の橋梁技術者となる大学生・高専生および工業高校生の皆さんを対象に行いました。平成22年度は、北は北海道から南は九州沖縄まで30校からの問い合わせを頂き、22校へ出向き協会委員会の学校OBや女性技術者などの橋梁技術者による講座を行いました。講義内容は「鋼橋へのアプローチ」や「橋梁メーカーの業務内容及び講師の経験談」等で質疑応答を交えて90分前後の講義を行いました。「鋼橋へのアプローチ」では橋の「役割」、「使用する材料」、「構造形式」、「設計」、「製作」、「架設」について、流れに沿って説明しました。また、「橋梁メーカーの業務内容及び講師の経験談」では講師の従事した仕事の苦心談や苦労話を紹介しました。

聴講された学生さんたちの感想は、鋼橋の形式と架設方法の種類の多さに興味を持ち、特に架設については、架設日の制約や時間の制約がある中で架設する事の難しさに驚いていました。また、鋼橋が100年以上持っていることと、メンテナンスをすることで200年以上持つことのすばらしさに感銘し、橋梁技術者に興味を持ったという頼もしい言葉も聴かれました。

最後に、出前講座の機会を提供して頂きました学校ならびに関係者の皆様に深く感謝申し上げます。平成23年度も鋼橋に興味を持って頂けるように、内容を一層充実させ、より良い「出前講座」を開催してまいりますので、興味を持たれた学校の方はご一報頂ければ幸いです。

